

市民交流の拠点に

「キハ603広場」

御坊市、紀州鉄道「紀伊御坊」駅近くに廃車になった列車を再利用した「キハ603広場」が新設された。車内には図書コーナーやたこ焼きなど軽食コーナーもあり、市民らが列車を訪れることを通じて交流の輪が広がればの願いが込められている。

御坊市本町商店街



初日は大勢が詰めかけた。

短い鉄道で、日本一の商店街を目指して」と期待を込め、佐納雄彦・紀州鉄道御坊事業所長は「廃車にする予定だった列車を再び活用してもらえるのは有難く感謝します」とあいさつした。

広場に据え付けられたジーゼル車は大分県の耶馬溪線で走っていたのを紀州鉄道が譲り受けて走行させていたが、老朽化が進み、廃車になる予定だった。

「スクラップにするよりは、展示して活用するほうが喜ばれるのでは」と、本町商店街振興組合（坂井和夫代表理事）が、無償でもらった。

組合は広場に線路を敷いて列車を設置。内部を調理や読書が出来るように改装した。

オープン式典で中村裕一・県議は「日本一

設置された「603」の車内は、前半分がたこ焼きなどの軽食コーナーで、後ろ半分は漫画などを読む「交流コーナー」。吊り皮やボックス席も走っていた当時のまま残されている。おじいちゃんやおばあちゃんらが乗り物好きなお孫さんを連れてボックス席から車外を眺めると、ちょっとした旅行気分を味わってもらえるのでは」と大勢の利用を呼びかけている。

商店街振興組合は「どなたでも気さくに立ち寄って交流を深めてください」とアピールしている。